

D. ふじみ野の石造物をたずねて

■道程／7300m ■所要時間／約2時間26分(見学時間を除く)



★…市の指定文化財がある地点

① 苗間神明神社 拝殿の西側に立つレンガ造の燈籠は、明治初期に建てられたと思われるもので、文明開化の息吹きを今に残している。

② 上沢薬師堂の百観音 境内右手に並ぶ石仏は、西国、坂東、秩父、合せて百ヶ所の観音札所を巡礼した功德を、多くの人に分けるため、明治2年(1869)に建立された。

④ 寛政の庚申塔 渡戸の辻と渡戸観音堂に、そろって寛政4年(1792)に造立された庚申塔があり、道しるべも兼ねていた。

⑥ コロボックルの碑(貝塚稲荷旧跡碑) 明治40年(1907)、東京帝大の学士達がこの地を訪れ、採集された縄文土器を「コロボックルが残したもの」と説明した。これを記念して、大正元年(1912)に碑が建てられた。

⑧ 護国寺の大型板碑 境内の3基の大型板碑は高さ3m近く、1基には「建長四年(1252)十一月八日黒洲比丘尼」と建立日が記される。鎌倉時代中頃にあたり、人間東部地区最古の紀年銘である。